

奈良県立医科大学病院 眼科 で  
シリコンオイル抜去術の治療を受けた患者さんへ  
( 臨床研究に関する情報 )

奈良県立医科大学病院眼科では、鹿児島大学附属病院眼科を主とする複数施設での共同研究として以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】シリコンオイル抜去眼の残存シリコンオイルの新しい評価法と眼所見との相関に関する多施設共同後ろ向き研究

【研究機関】奈良県立医科大学病院 眼科

【研究責任者】辻中 大生（眼科・助教）

【研究の目的】硝子体手術（網膜剥離手術や糖尿病網膜症手術など）時にシリコンオイル（SO）を注入することがあります。その後 SO を抜去する手術が必要になる場合がありますが、その際眼の中に SO が残ると、合併症を起こす可能性があることが報告されています。SO 抜去手術後には、眼の中に残った SO 粒子の量を超音波エコー検査などの客観的な手法で評価し、今回は、眼内に残存している SO の量に影響する因子を過去へさかのぼって調査し、検討します。

【研究の方法】SO 抜去術後の術眼には超音波エコー検査を実施してあります。残存した SO 粒子は、超音波エコーにて明るく描写されるので、これを一定時間（術後 24 時間後、48 時間後など）毎に行い記録しました。

このデータを基に眼球の容積あたりのシリコンオイル粒子の量を数値化し、その他の眼の所見との関連を調べます。

●対象となる患者さん

1) 2015年1月1日から2016年10月31日までに当院眼科でSO抜去術を行った症例で術後超音波エコー検査を施行した患者様

●診療録（カルテ）から利用する情報

眼軸長（眼の長さ）、年齢、視力、眼圧、SO 留置期間、術中に使用する灌流液の量、眼底写真、網膜の光干渉断層計（OCT）画像、超音波検査画像を使用します。いずれも通常の診療の際に得られた情報で、この研究のために特別な検査は行いません。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。この研究は鹿児島大学附属病院を主とする複数施設での共同研究であり、得られたデータは匿名化された状態で鹿児島大学附属病院に送られ、集計された後、解析されます。また、研究成

果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。研究が終了した時点で関連するデータは復元不可能な形で廃棄します。

**【研究の資金源等、関係機関との関係について】**

この研究は、公的研究費（厚生労働省科学研究費等）で実施しますので、利害の衝突は発生しません。

**【参加を希望しない患者さんへ】**

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関する研究データを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

**【問い合わせ先】**

〒634-8521

奈良県橿原市四条町 840 番地

奈良県立医科大学病院 眼科

科長 緒方 奈保子

電話 0744-22-3051 FAX 0744-22-4121